

令和5年度 東部地区小学校・義務教育学校（前期課程）理科授業充実研修会

令和5年8月2日（水）
越谷市科学技術体験センター

小学校理科授業の一層の充実を図るため、観察・実験の指導技術の向上と科学的な思考力を育成する授業づくりをテーマとする研修会を実施しました。

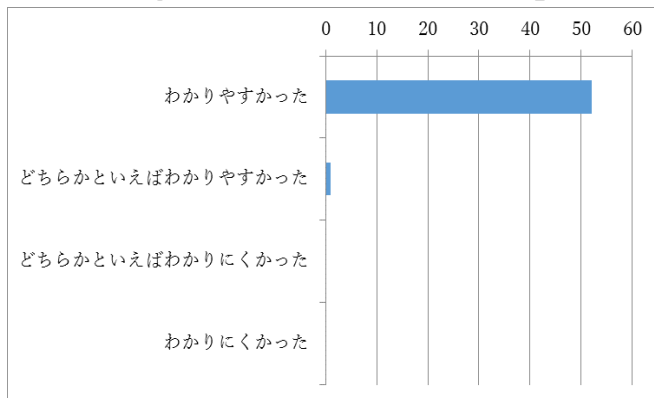
全体を2グループに分け、講義や演習、実験・実習等、午前と午後の交替制で研修を実施しました。

指導者から科学的に探究するためのポイントや理科の見方・考え方を働かせた事例の紹介、事故防止の視点を取り入れた講義・演習、ものづくりを通して学ぶ昆虫のからだや筋肉組織のづくり、音の振動や伝導コイルについての実験の工夫、煮干しの解剖や微生物の観察、塩の抽出を通じた実験器具の正しい使い方など、様々な研修に取り組みました。

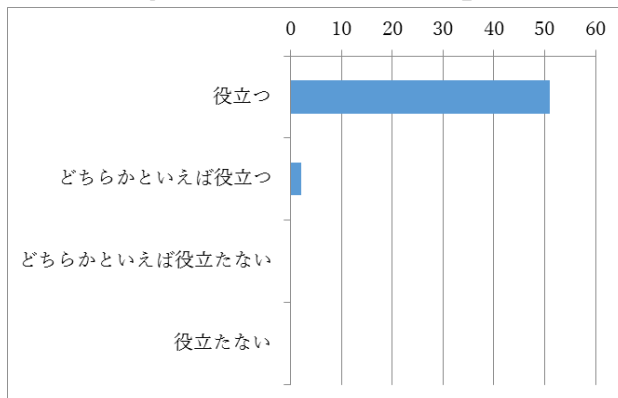
どの参加者も熱心に取り組み「理科の面白さに改めて気づかされた」、「すぐに授業で活用していきたい」などの声が多く聞かれました。（参加者53名）

【参会者のアンケートから】

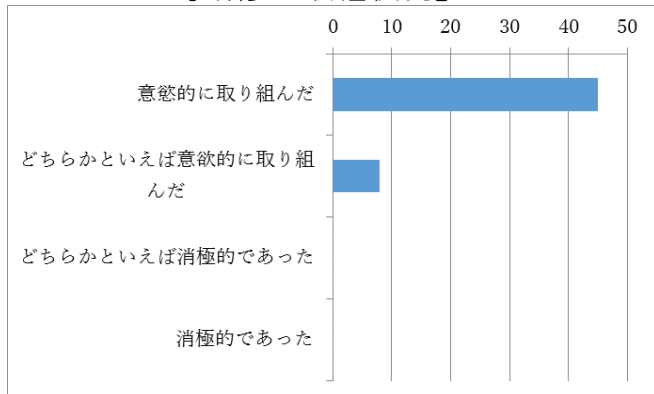
『内容がわかりやすかった』



『授業実践に役立った』

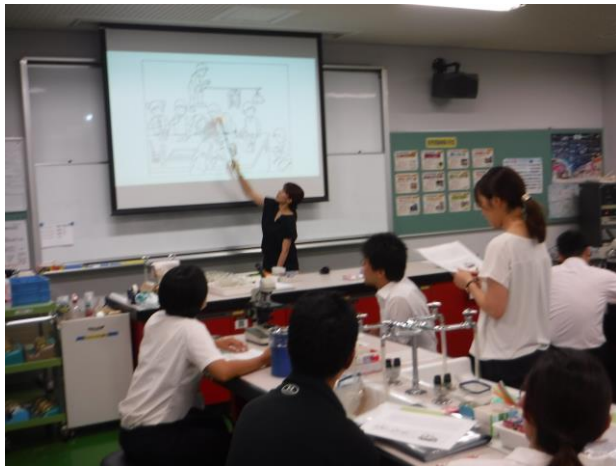


『研修の取組状況』



どの設問に対しても、高い評価を得ることができました。本研修会が、理科教育を学ぶ意欲が旺盛な小学校教員にとって、貴重な学びの場となっていることが伺えます。教員自身が多くの実験等に関わることで、理科の楽しさを知り、児童に還元されることを期待しています。

【研修会の様子】



事故防止について



科学的に探究するためのポイント



音の振動



塩の抽出



昆虫のからだのつくり



煮干しの解剖

【参会者の感想から】

- 実際に作ったもので持ち帰ることができたので、学校での教材作りに役立った。自身も童心にかえって楽しみながら演習ができた。今後も自ら興味関心をもち、児童の目線に立って教材研究をしていきたい。
- 授業を充実させる教材を作ったり見せてもらったりする中で、色々な視点も持つことができた。特に電磁石の釣り竿づくりが参考になった。また、カタクチイワシの解剖も分かる人が近くにいたから楽しくできたと思うので、普段の理科授業でも教師が詳しく知っていることは大事だと感じた。
- 理科の授業を行うにあたって、教材研究が不十分で常に自信がなかったが、多くの実践例を教わったので、安心して授業づくりができそうだった。自分自身も理科の学習を楽しみ、安全を考慮しながら子供たちにも楽しさを伝えながら、科学的な見方・考え方ができるように育てていきたい。
- 教科書に載っている実験だけでなく、より分かりやすい実験方法や実験器具について知ることができた。どれも特別なものではなかったのですが、今後の授業で活用していきたい。本日の研修を活かし、実験を充実させることはもちろん、子供の記憶に一つでも残るような学習にできたらと思う。
- 身近な材料を使ったものづくりをたくさん教えていただき、とても勉強になった。実際に体験したことで、実験・観察から学ぶ楽しさにつながる教科であり、教師側の工夫によって、その楽しさは何倍にもなることを改めて感じることもできた。持ち帰った教材は自校で早速紹介していきたい。
- 一人ではやらない実験、観察、演習をたくさん行うことができ、大変勉強になった。また、多くの学年のいろいろな分野・単元を取り上げていたのがとてもよかった。
- 普段の授業づくりでは、あまり考えることができていなかったポイントなどを知ることができた。また、子供が興味を持つような内容であり、ねらいに向けて工夫がされていたので、自校に持ち帰って活用していきたい。
- 手軽な材料を用いて子供たちが「わかった」と思える活動が多く、とても参考になった。
- 今回の研修を通して、「ものづくり」の大切さを学んだ。現在、5年生の担任をしているので、これからの単元に活かしていきたい。特に顕微鏡のプレパラートにのせる方眼紙の工夫は自分にはなかった発想だったので、ぜひやってみたいと思った。教員歴2年目の自分にとって、このような研修に参加し、引き出しを増やしていくのはとても大事だと感じた。
- 講義を受けるだけでなく、実際に実践できたことがとてもよかった。自分でも楽しめたものは子供たちも楽しめ、苦戦したものはどう工夫すればよいか同じグループの先生と話しながら研修に参加することができた。
- 各学年で実際にできる実験ばかりで勉強になった。いわしの解剖は初めて体験したので感動的だった。他校の先生とグループ協議をすることで、様々なアイデアや情報交換もできたよかった。